

目 標	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな発想や創造的な技能などを働かせ、その体験を深めることに関心をもつとともに、進んで表現する態度を育てるようにする。 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、つくりだす能力、デザインの能力、創造的な工作の能力を伸ばすようにする。 自分たちの作品や身近にある作品、材料のよさや美しさなどに関心をもって見るとともに、それらに対する感覚を高めるようにする。 		
	学期	学習内容・到達目標	
前 期	後 期	よく見てかこう ・自分の顔をよく見て、自分らしい表現をすることができる。	お話の世界 ・物語を十分に楽しみ、表したい場面の面白さや雰囲気や伝わるように、画面や色を効果的に表すことができる。
		キラキラ光る絵 ・材料の感じを生かして、置き方や色、形などを工夫して表現できる。	木から生まれた世界 ・彫刻刀を工夫して使い、自由な発想で想像したことを版画にできる。
		絵の具のふしぎ ・絵の具を使って、色と色を混ぜたり、重ねたりして、いろいろ試してみることができる。	材料ものがたり ・自分なりの思いをもち、発想を広げながら表すことができる。
		わすれられない日 ・内容がよく伝わるように、画面構成や絵の具の使い方を工夫し、作品をもとに友だちと話し合い、表現の違いやよさに気づくことができる。	ハッピーカード ・伝えるメッセージを決め、その内容を仕組みと合わせて工夫しようとしている。 ・友だちと作品を見せ合い、それぞれのアイデアや工夫を認め合うことができる。
		ひもでつくる ・ひもづくりの技法をつかい自分なりのの方法を試したり確かめたりし、創造的につくるためにつくりかえたりしながら表すことができる。	へん身 パツ ・変身したいものの形や色、材料などを考え、身近にある材料を生かして、変身したいものを表そうとすることができる。
		コロコロ コロガラート ・基本的なつくり方ができ、楽しく遊べるように工夫することができる。	
		きょうかしよびじゅつかん ・親しみやすい美術作品を鑑賞することを通して、作品について友だちと話し合うことができる。	
ゆめを広げて ・身近にあるものから想像を広げて絵や立体に表すことができる。			
ワンダーランドへようこそ ・想像を組み合わせたり、新たな発想を加えたりして計画を立て、場所の特徴に合った扉や、景色のイメージを工夫してつくることができる。			

図画工作科の評価

・図画工作科では4つの観点で評価します。			
造形への関心・意欲・態度 自分の思いで表現したり、鑑賞したりしながら、つくりだす喜びを味わおうとする。	発想や構想の能力 感じたことや見たこと、材料や場所などを基に表したいことを思い付いたり、形や色、用途などを考えたりしている。	創造的な技能 手や体全体の感覚を働かせながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫している。	鑑賞の能力 身近にある作品などの形や色などから、表現の感じの違いをとらえたり、よさや面白さを感じ取ったりしている。
・次のような方法で見てください。			
制作の様子	作品	アイデアスケッチ	発言内容
			作品紹介の内容
			展示方法
			ふりかえりカード
おうちの方へ 廃品などの材料集めをして作品づくりをします。ご家庭でのご協力よろしくお願いします。また、作品を持ち帰りましたら、鑑賞し、工夫したことなどの話を聞いたり感想を言ってあげたりしてください。			